

6年生

教科	成果	課題	重点取り組み
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の学習に意欲的に取り組み、定着率が上がってきている。 ・物語文や説明文を読んで、筆者の考えを理解したり、自分なりの考えをもって書き表したりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎文章内で既習の漢字を使いこなせる力が弱い。 ・語彙力が身に付いていないため、文章に書き表す際に適当な言葉が使えず、思ったことが伝わらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書くときに、漢字を適宜使用するよう、例示するなどして指導する。 ・言葉の意味や使い方、働きなどを調べる時間を確保するとともに、獲得した言葉の定着を目指して、日頃からも獲得した言葉を使いこなしていくよう、声をかけていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、できるまで熱心に取り組む児童が増えた。 ・課題に対する解決法を複数考えたり、友達の考え方を使って課題を解決しようとしたりする児童が増えた。 ・数直線をかき、立式の根拠とすることができる児童が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎偶数奇数などの定義や割合の理解に課題がある。 ・学習の定着度合いの個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題中の与えられた情報を適切に使用する技能の習得のために、引き続き数直線を活用していく。 ・補習を活用し、既習事項の定着を図る。 ・タブレットドリルやミライシードを活用して復習に取り組みさせる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・写真・映像などの資料から政治的、歴史的な意味を予想するなど、高い関心を示している。 ・学習したことをもとに、自分の考えを入れて表現する力がついてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎日本の地理的環境、工業、産業の特徴についての理解が弱いこと。 ・社会科の用語の定着が弱いこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県や各地域の特徴が捉えられるように、地図や映像、写真などの資料を取り入れて特徴が結び付くよう指導する。 ・社会科の用語の確認を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・理科への興味・関心が強く、特に、実験・観察に対して意欲的な取り組みが見られる。 ・写真・映像などの資料を効果的に取り入れることで知識の定着を図るようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎理科の用語を使って、説明する力が弱いこと。 ・理科学習の定着度合いが児童によって差があること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察の時間の後、理科の用語を使って、具体的に結論や考察を書かせる。 ・予想や結果を時系列により具体的に説明できるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音色やリズムに気を付けて、旋律楽器や打楽器を演奏することができる。 ・楽曲を聴いて、曲想の変化を音楽の要素を手が 	<ul style="list-style-type: none"> ◎表現することに、恥ずかしさや抵抗を感じている児童もいる。 ・歌唱では、作曲者の表現したい思いを歌詞や 	<ul style="list-style-type: none"> ・変声期の児童に配慮しながら、児童一人一人のよさを見付けて伝えたり、積極的に声掛けをしたりして、表現することに自信を

	りに聴き取ったり、曲の特徴を言語で表したりすることができる。	楽曲から読み取り、それを生かした表現を工夫しながら歌う力が弱い。	もてるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・友達同士で温かな声を掛け合い、意欲的に取り組むことができる児童が多い。 ・自分の表したいことを明確にもって主体的に取り組むことができる児童が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分が表したいものに合わせ、材料や表現の仕方を主体的に考えられる力を付けること。 ・表したいことについて、思い付いて形に表すまでに時間がかかる児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を確認しながら、どのような表し方ができるのかを思い出し考えられる機会を設けたり、画材や材料を多数用意したりする。 ・発想を広げる段階でスモールステップで進められるように、ワークシートの発問を精選する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に積極的に取り組むことができ、特に、作品作りには、意欲的に取り組む児童が多い。 	◎ミシンの使い方や、裁縫の手順など基礎的な知識・技能が身に付いていない児童がいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの使い方を練習する時間を設ける。 ・友達に任せるのではなく、教えてもらって自分で作成するよう指導する。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会での表現運動など、明確な目標がある取り組みに対して、頑張ることができる。 ・苦手な運動に対しても、熱心に取り組む姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動技能に個人差があり、習得に時間を要する児童もいる。 ・作戦やコツなどを考えたり、体を動かす中での気付きを友達と共有して取り組んだりする力が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の運動能力の伸びが実感できるような学習活動を行う。 ・お互いに見合い、アドバイスをし合う時間を設定する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学習内容の理解ができている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎主体的に取り組む児童の差が大きい。 ・少し長い会話のやり取りが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導員（ALT）との日常会話のやり取りする時間を多く設定する。 ・その日に習得した語彙や文章の復習をする時間を設ける。